

## 令和7年二級建築士設計製図試験 総評・ポイント解説

### 全体総評

二級建築士設計製図試験を受験された皆様、あらためまして、大変おつかれさまでした。

今年度の試験課題の特徴として、敷地面積が比較的小さい上に、要求室数や面積が大きかったため、**建蔽率の限度**にも十分に注意が必要な計画となりました。

又、**2階の要求室の数や指定面積も大きく**、総2階建てに近い建物ボリュームとなりました。このため、特に2階については、TAC課題で学習した基本フレームや計画内容だけでは、要求室の整理が難しい内容となりました。

一方、計画において重要なテーマとなった、

- ・入居者同士又は入居者の友人等を招いてのパーティー等にも使用するLDK（1階）
- ・入居者同士の交流の場として使用する交流スペース（2階）
- ・上下階のつながりをつくる吹抜け
- ・LDKと直接行き来できる屋外テラス

等については、TACの**初期課題より数多く対応**してきましたので、十分に対応できたかと思えます。

全体としては、**要求室の数や面積・特記事項による指定が多く、平面計画は比較的難しい課題**でしたが、サプライズ的な要求事項は少なく、シェアハウス用途に特化したシンプルな課題内容であったと思います。

以下、それぞれのポイントについて列記します。

### ポイント解説

#### （1）敷地について

敷地は、第一種住居地域内にあり、**西側道路および南側道路の2面に接する角地（15m×15m）**で、課題の中では比較的小さいものでした。この角地は、**応用課題7で学習済**でしたので、建築可能範囲や屋外施設の仮想定、アプローチの仮検討等は、特に問題なく対応できたかと思えます。

## (2) 設計条件について

建築物の階数については、明確な指定がありませんでしたが、**想定どおり2階建ての出題**となりました。冒頭の留意事項では、上下階の床衝撃音・騒音等への配慮が求められましたが、**個室を上下階でできるだけ合わせる等、ゾーニングやプランニング上の工夫や配慮**も必要と思います。

## (3) 要求室について

### 【 1階 】

- ・ **LDKの計画**には、入居者や友人等を招いての**パーティー等にも利用できる**、リビング又はダイニングの上部には**吹き抜け**を設ける、**屋外テラスと直接行き来**できる等が求められましたが、TACでは、**課題1と課題4でほぼ同じ設定を学習済**でした。
- ・ **個室(A)**の計画には、13㎡以上、4室設ける等が求められましたが、TACでは、**課題2において、類似の居室を学習済**でした。
- ・ 出題の水まわり系諸室の要求事項は、**ほぼ全て、TAC課題で学習済**でした。

### 【 2階 】

- ・ 交流スペースの計画には、**畳コーナー付きの交流スペース**を設ける、入居者同士の交流の場として利用する等が求められましたが、TACでは、交流スペースに類する設定を**全7課題中6課題において学習、畳室は課題2で学習済**でした。
- ・ **個室(B)**の計画には、18㎡以上、3室設ける、**全てにバルコニーを設ける**等が求められましたが、TACでは、当初より避難上重要となるバルコニー計画に着目し、**矩計図での作図演習も含め課題4と課題7で学習済**でした。

## (4) 屋外施設等について

- ・ **玄関へのアプローチのみ**で、スロープや駐車スペースの要求もなく、比較的易しい条件と言えます。駐輪スペースが10台要求されましたが、TACでは、同数規模の計画をしつかりと学習しましたので、問題なく対応できたかと思います。
- ・ **個室(B)の3室それぞれにバルコニーの設置要求**があり、バルコニーが直接道路に面していない場合**1.5mの空地及び避難経路を確保**することが求められました。これは、東京都建築安全条例などで定められている内容に同じであり、昨年に続いての出題となります。

した。但、TACでは、**個室やドミトリーは、南面・道路面に優先して配置することを第一に学習**してきましたので、自ずと、今回の接道条件である南側又は西側道路に面した個室およびバルコニーの計画ができたかと思います。

TAC 建築士講座

令和7年9月15日

この講評の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されています。